



8/25 南九州ブロック B&Gスポーツ大会優勝!!



8月25日に鹿児島県阿久根市で南九州ブロックスポーツ大会がおこなわれ、久木野小学校6年の今村麻織里さんが6年生50m自由形の部で優勝しました。本大会は熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の九州の南部ブロックのB&G海洋センターから集まる大会で、今村さんは8月3日におこなわれた熊本県大会でも優勝し、県代表として出場しました。

日頃の練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい結果を収められました。

9/11 旬の味覚を 地元子どもたちに



9月11日、JA阿蘇白水ミニトマト部会長の倉石裕一郎さん(両併一)から、はくすい保育園と白水小学校の園児・児童に対し、箱いっぱいので元で採れた旬のミニトマトが贈呈されました。

この取り組みは、食育の観点から白水地区で採れた農作物の美味しさを地元子どもたちに知ってほしいという目的で毎年おこなわれています。倉石部会長からは、「いっぱい食べて大きくなってください」と子どもたちにメッセージが送られました。

9/16 「旅サラダ」で 南阿蘇村の魅力発信!



村の特産品を紹介する吉良村長

9月16日、熊本朝日放送で放送されている「朝だ!生です旅サラダ」にて吉良村長らが南阿蘇村の魅力を発信しました。この放送は、南阿蘇鉄道が全線運転再開するなど、震災復興の一区切りとなる1年となることから、村の認知向上を目的におこなわれています。

当日は、中丸雄一さんもお越しいただき、ニコニコ饅頭やジェラート、あか牛など南阿蘇村の食を堪能。放送後は、「南阿蘇村に行ってみよう」と多くのSNSで発信され、見どころ満載の生中継でした。

9/21 第5回南阿蘇学講座 「南阿蘇の歴史」



9月21日、LOOPみなみあそにて5回目となる南阿蘇学講座が開催されました。講師は村教育委員会職員の竹永昂平さんで、自身も携わった村内の遺跡などのトピックを考古学の専門知識を生かして教えていただきました。その他、近・現代については「行政、戦争、教育、観光、災害」を切り口に、講話をおこないました。

参加者は講座を通して、「南阿蘇地域の歴史を旧石器時代から現代までの通史として学ぶことができた」と喜ばれていました。

9/22 おかえりなさい!「SLあそBOY」



9月22日、JR九州は「SL人吉」のラストシーズン企画の一環で、18年ぶりの1日限定復活運行となる「SLあそBOY」と南阿蘇鉄道のトロッコ列車「ゆうすげ号」を組み合わせ、熊本県の復興を記念したタイアップツアーを実施しました。

立野駅には、村内3保育園の園児をはじめ、多くの人が集まりました。「SLあそBOY」が汽笛とともに到着すると、園児たちは旗振りと大きな歓声で出迎えました。

9/20~22 中学生が役場の仕事を体験



立野駅で広報写真を撮影する西元圭さん、田上ひよりさん

9月20・21・22日の3日間、南阿蘇中学校の2年生3人が職場体験学習として役場を訪れ、政策企画課（広報）、水・環境課（水道）、建設課（立野ダム見学）、子育て支援課（検診）の4課でそれぞれの業務を体験しました。

22日の広報の仕事では、立野駅で開催されたSLあそBOY運行の取材をおこない、また、記事の作成を体験しました。3日間の体験を終えた西元圭さんは「職場体験を通して、学校ではできないことを体験できてよかった」と話していました。

10/2 きれいな村づくりを!



10月2日、村地域婦人会47人と第三駐在の有志による道路の清掃活動がおこなわれました。この取り組みは、「きれいな村にしたい」という思いから地域婦人会が計画され、今回が初めて。

この日は、ツール・ド・九州2023のコースとなる県道矢部阿蘇公園線や新村交差点周辺（久木野地区）のごみ拾いを実施。会長の長尾公代さん（中松一）は、「ツール・ド・九州の参加者には、ぜひきれいな南阿蘇村を走ってほしい」と選手にメッセージを送られました。

10/7 村でグローバル体験



中庭でインド料理をふるまう学生たち

10月7日に専門学校イデアITカレッジ阿蘇で学園祭「第2回長陽祭」が開かれました。今回は「南阿蘇村でグローバルを届ける」をテーマに、多国籍の学生との交流や飲食などを通じて、さまざまな国の文化を楽しむことができるブースが盛りだくさん。

実行委員長を務めた湯野歩夢さんからは、「多くの人たちに参加いただいて嬉しい。国籍や年齢の壁を超えて、IICA（イイカ）のことを知ってほしい」と話されました。